

【重点分野－3】
連合全国一斉集中労働相談ホットライン
STOP！長時間労働～あなたの働き方は大丈夫？～
(12月13日・14日) 集計結果報告

連合は、11月の「過労死等防止啓発月間」の一環として、12月13日(水)～14日(木)に全国一斉集中労働相談ホットライン「STOP！長時間労働～あなたの働き方は大丈夫？～」をテーマに電話での労働相談を実施した。この取り組みは、労働時間管理の現状把握をきっかけとして、集团的労使関係の理解・促進につなげるものである。なお、同時期に実施した連合本部「LINE 労働相談」の集計結果については別途報告する。

I. 日 時：2023年12月13日(水)～14日(木)

II. 相談総件数：525件

III. 相談概況：

～全体の特徴～

1. 女性からの相談が5割超、50代からの相談が約3割

期間中に525件の労働相談が寄せられた。性別では男性(46.3%)、女性(53.5%)と女性からの相談が半数以上を占め、年代別では50代(32.3%)、次いで60代(23.2%)、40代(18.1%)と続いた。

2. 正社員からの相談が約5割、「医療・福祉」がトップ

雇用形態別では、正社員(47.4%)が約5割と最も多く、次いで、パートタイマー(17.7%)、契約社員(5.9%)となった。業種別では、医療、福祉(23.6%)が最も多く、次いで製造業(13.8%)、サービス業(10.7%)となった。

3. 相談内容は大項目「労働時間関係」、詳細項目「パワハラ・嫌がらせ」がトップ

相談内容の大項目別では、「労働時間関係」が24.6%と最も多く、次いで「差別等」19.5%、「賃金関係」18.8%となった。詳細項目別では、「パワハラ・嫌がらせ」が16.4%と最も多く、次いで「年次有給休暇」8.8%、「雇用契約・就業規則」6.9%となった。

具体的には、「3年間勤務しているがパートには有給休暇は無いと言われ、休むと欠勤扱いされる。」、「介護施設で働いており、夜勤明けの日に夜勤を入れられることが当たり前になっている。」、「パートで勤めているが、正社員から露骨な嫌がらせを受けている。それを上司が見て見ぬふりをしていて、我慢の限界だ。」といった相談が寄せられた(主な相談内容は別紙参照)。

集計報告
 連合全国一斉集中労働相談ホットライン
 STOP!長時間労働～あなたの働き方大丈夫?～

		2023年		
集計対象期間	12月13日～12月14日			
受付件数 <small>(受付件数のみ報告分含)</small>	525			
報告(地方・本部)数	48			
項目	内容	件数	割合	
性別 <small>(未報告除く)</small>	男性	243	46.3%	
	女性	281	53.5%	
	その他	1	0.2%	
年代 <small>(不明除く)</small>	10代	4	1.2%	
	20代	28	8.3%	
	30代	36	10.7%	
	40代	61	18.1%	
	50代	109	32.3%	
	60代	78	23.2%	
	70代	21	6.2%	
雇用形態 <small>(未報告除く)</small>	正社員	249	47.4%	
	パートタイマー	93	17.7%	
	アルバイト	25	4.8%	
	契約社員	31	5.9%	
	臨時・非常勤職員	4	0.8%	
	嘱託社員(再雇用含)	19	3.6%	
	派遣社員	24	4.6%	
	その他	80	15.2%	
業種(上位) <small>(不明除く)</small>	1位	医療、福祉	84	23.6%
	2位	製造業	49	13.8%
	3位	サービス業(他に分類されないもの)	38	10.7%
	4位	運輸業	33	9.3%
	5位	卸売・小売業	32	9.0%
相談内容 大項目(上位) <small>(未報告除く)</small>	1位	労働時間関係	115	24.6%
	2位	差別等	91	19.5%
	3位	賃金関係	88	18.8%
	4位	労働契約関係	52	11.1%
	5位	退職関係	33	7.1%
相談内容 小項目(上位) <small>(未報告除く)</small>	1位	【差別等】パワハラ・嫌がらせ	86	16.4%
	2位	【労働時間関係】年次有給休暇	46	8.8%
	3位	【労働契約関係】雇用契約・就業規則	36	6.9%
	4位	【労働時間関係】その他	32	6.1%
	5位	【賃金関係】その他	26	5.0%
情報源・ルート <small>(不明除く)</small>	新聞・雑誌	35	7.6%	
	ラジオ・テレビ	200	43.3%	
	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	15	3.3%	
	ホームページ	145	31.4%	
	SNS (Facebook・Twitter)	6	1.3%	
	紹介	12	2.6%	
	その他	49	10.6%	

【参考】連合本部LINE労働相談 158件(13日:79件、14日:79件)

寄せられた主な相談内容

■賃金関係（不払い残業、未払い賃金など）

- 病院の勤務医。月4回程度の日直・当直をした翌日も日直で働かなくてはならない状態。このような働き方をしても手当もつかなければ、残業代も出ない。（正社員・男性・20代・医療、福祉／東海）
- 派遣先の上司から、出退勤管理は鉛筆で書くようにと指示された。賃金の振り込みがあり、残業時間が減らされているので派遣元の担当に聞いたところ、派遣先の申請通りに支払ったとのことだった。（派遣社員・男性・40代・製造業／東海）
- 22時以降の25%割増分未払いである。揉めたくないで静観していたが様々なことが重なり11月自己都合で退職した。退職しても賃金未払い分は請求できるか？（アルバイト・男性・70代・サービス業／東北）

■労働時間関係（休日・休憩、年次有給休暇、長時間労働など）

- 介護ヘルパーをしているが、人手不足で残業が多く過労死ラインを超えている。有給休暇も全く取得できず、残業代も全額もらえていない。（正社員・女性・40代・医療、福祉／近畿）
- 同族経営の会社で営業をやっている。8:30自宅から直接取引先へ。20:00会社へ帰着、それ以降に日報や翌日の準備。帰宅は、深夜2:00頃。月120～140時間位の残業がある。理由は、長時間労働や残業代の支払いに会社が不利になるため社労士の提案により営業職のタイムカードが廃止となった。未払い分を請求できるか。（正社員・男性・50代・製造業／東北）
- 係長に昇格し3万円の手当がついた。就業時間の縛りはなく自分の裁量の中で働けばよいとのことで時間的な拘束はなくなったが、実際は以前より業務量が増え長時間労働になっている。以前はついていた時間外勤務手当、自己啓発のための手当その他がなくなったため、手取りは変わらない。（正社員・男性・40代・サービス業／北陸）

■差別等（パワハラ、嫌がらせなど）

- 不妊治療専門クリニックで勤務している。院長から圧力をかけられ、毎日のように失敗をひどく叱られ辛い。担当の仕事から外され、半日間、ひたすらガーゼを畳んでいた日もある。どんどん仕事を減らされ、年明けには新人が入ると聞いている。自分の仕事がなくなる気がして、退職勧奨と感じている。（正社員・女性・50代・医療・福祉／東海）
- パワハラを受け、会社の「ハラスメント窓口」に連絡をした。しかし、「調査をする期間がかなり掛かることや職場に戻ってもその上司がいるから仕方がない」と言われてしまった。味方になってくれると期待していたのに裏切られた形となった。（嘱託社員・男性・60代・製造業／東海）